

船穂小学校及び船穂小学校区の児童の保護者 様
 船穂小学校区の未就学児の保護者 様

船穂小学校の現状等について（お知らせ）

令和2年9月発行
 印西市教育委員会 教育部 学務課

教育委員会では、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、船穂小学校及び船穂小学校区の児童並びに船穂小学校区の未就学児の保護者の皆様を対象とした船穂小学校の今後の対応等に係る意見交換会について、本年9月頃の開催を検討しておりましたが、現在の感染状況に鑑み、感染拡大防止の観点から、当面の間、意見交換会を開催することは困難であると考えております。

本来であれば、保護者の皆様と課題を共有しながら、直接意見交換等を行っていききたいところではございますが、何卒、御理解くださいますようお願いいたします。

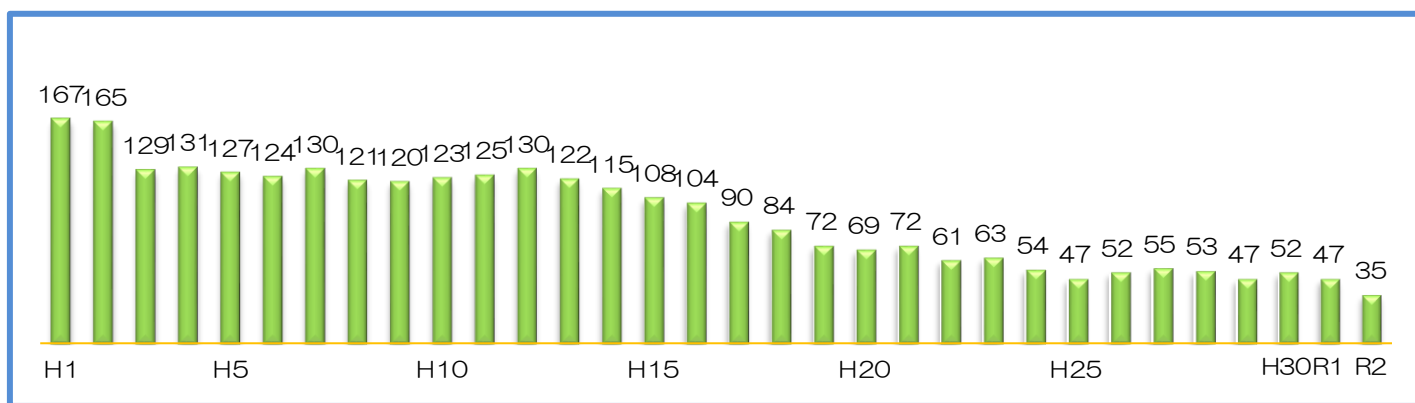
つきましては、船穂小学校の現状等についてまとめましたので、関係する保護者の皆様にお知らせいたします。

また、これまでの意見交換会において寄せられた意見を考慮し、今後の協議等における参考資料とするため、市内の大規模校（小倉台小学校）から過小規模校（船穂小学校）への就学の意向（需要）について、「小倉台小学校への通学区域の弾力的な運用に関するアンケート調査」を実施しましたので、調査結果をお知らせいたします。

■ 船穂小学校の現状等について ■

1 船穂小学校の現状について

（1）児童数の推移



（2）学級数の推移

	H27	H28	H29	H30	R1	R2
通常学級数	5	6	6	6	5	4
特別支援学級数	2	2	1	1	1	2
計	7	8	7	7	6	6

※各年5月1日現在

(3) 教職員の推移（県職員）

	H27	H28	H29	H30	R1	R2
教職員数	12	13	12	12	11	11

※担任をしている講師は含み、休職・長期研修者は除く

(4) 令和2年度の児童数及び学級数

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
児童数	2	3	7	6	4	13	35
学級数	複式学級		複式学級		①	1	4 (2)

※令和2年5月1日現在

※学級数の○内の数字は、増置教員により複式学級を解消している

※（ ）の数字は、特別支援学級の数

(5) 令和2年度の教職員数

校長	教頭	教諭	養護	事務	栄養	合計
1	1	6	1	1	①	11

※栄養教諭については、各給食センター管轄内の児童生徒数の合計により配置されるもので、船穂小学校専属の教諭ではない

(6) 今後の児童数の推移

	R3	R4	R5	R6	R7	R8
1年	9	7	9	6	9	6
2年	1	9	7	9	6	9
3年	3	1	9	7	9	6
4年	6	3	1	9	7	9
5年	6	6	3	1	9	7
6年	4	6	6	3	1	9
計	29	32	35	35	41	46

※各年度の入学予定児童数については、学区外就学を考慮していない

(7) 学区外就学の状況

	H28	H29	H30	R1	R2
船穂小学校の児童数 (a)	53	47	52	47	35
他校に学区外就学している児童数 (b)	15	15	19	16	20
学区外就学している児童の割合 (b) / (a+b)	22.1%	24.2%	26.8%	25.4%	36.3%

※各年5月1日現在

※各年度の児童数には特別支援学級を含む

■小倉台小学校への通学区域の弾力的な運用に関するアンケート調査結果について■

1 小倉台小学校への通学区域の弾力的な運用に関するアンケート調査結果

(1) 調査の目的

市域全域の学校の適正配置については、平成28年度に策定した印西市学校適正規模・適正配置基本方針（以下「基本方針」という。）に基づき、保護者及び地域住民の理解と協力が得られるように意見交換会などを実施していますが、船穂小学校区の保護者からは、学校存続に向けた取り組みのひとつとして、他校（大規模校）から船穂小学校への就学希望者を募り、児童数を増やす必要があるとの意見が寄せられております。

市教育委員会の基本的な考え方は基本方針のとおりですが、寄せられた意見を考慮し、市内の大規模校（小倉台小学校）から過小規模校（船穂小学校）への就学（学区外就学による転入学）の意向（需要）を調査し、今後の協議等における参考資料とするため、「小倉台小学校への通学区域の弾力的な運用に関するアンケート調査」を実施したものです。

(2) 調査の方法

◎対象者：小倉台小学校の児童の保護者（現小倉台小学校の第1学年から第5学年まで）

◎調査期間：令和2年7月13日（月）～令和2年7月27日（月）

(3) 回収率

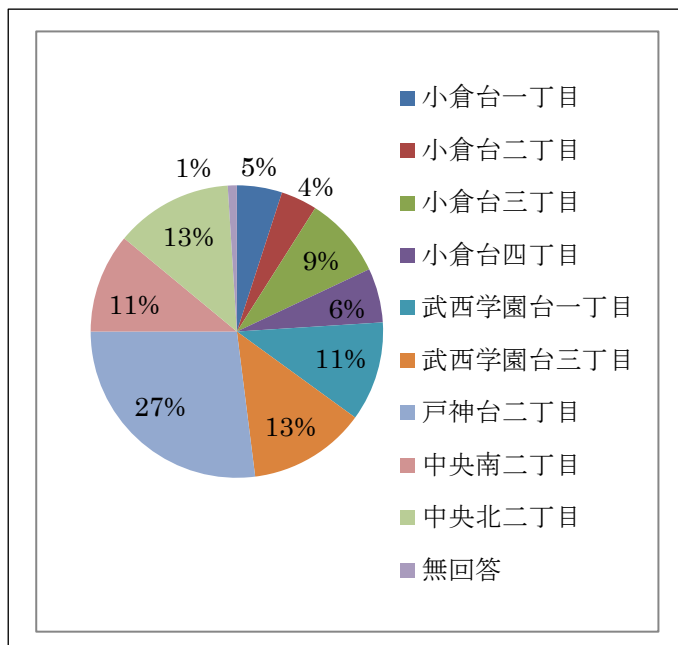
配付数（世帯数）	回収枚数	回収率
782	755	96.5%

(4) アンケート調査結果の概要

※集計に当たって、回答が複数ある場合は按分して、それぞれの回答項目に加算しています。

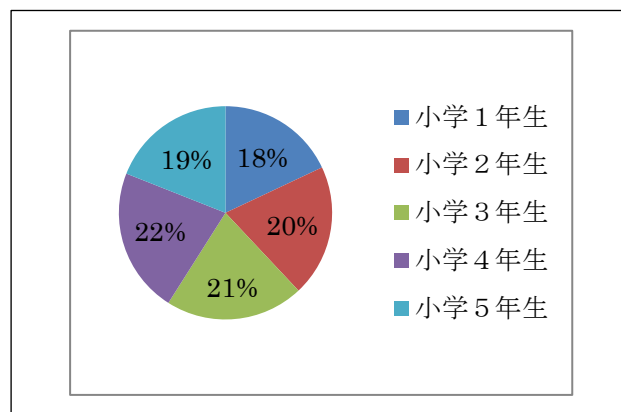
問1 あなたがお住まいの地区はどちらですか。

回答項目	回答数	回答率 (%)
小倉台一丁目	38	5
小倉台二丁目	33	4
小倉台三丁目	70	9
小倉台四丁目	45	6
武西学園台一丁目	83	11
武西学園台三丁目	97	13
戸神台二丁目	203	27
中央南二丁目	82	11
中央北二丁目	97	13
無回答	7	1
合計	755	100



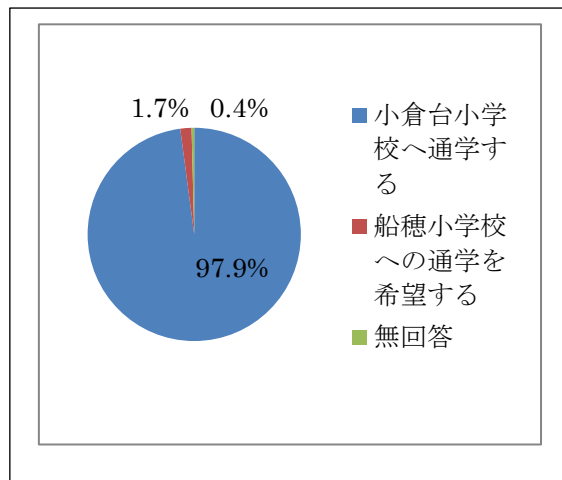
問2 現在、小倉台小学校に通学しているお子様の人数と学年を教えてください。
(令和2年5月1日時点とし、6年生は除く)

回答項目	回答数	回答率 (%)
小学1年生	169	18
小学2年生	187	20
小学3年生	190	21
小学4年生	197	22
小学5年生	178	19
合計	921	100



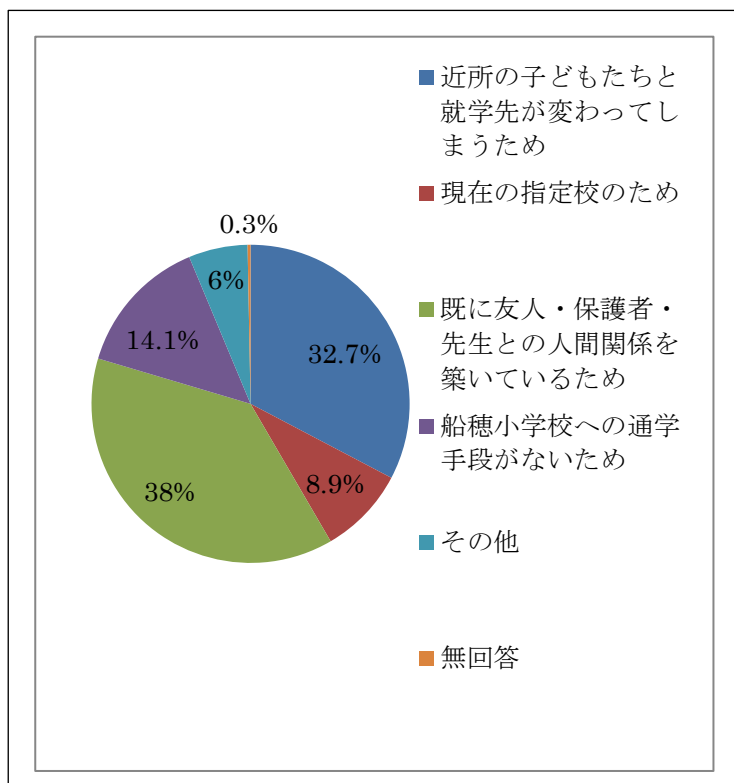
問3 通学区域制度の弾力的な運用【学区外就学の柔軟な対応】（以下「制度」という。）を実施した場合、あなたの考えは次のうちどれですか。

回答項目	回答数	回答率 (%)
小倉台小学校へ通学する（制度を活用する考えはない）	739	97.9
船穂小学校への通学を希望する（制度を活用したい）	13	1.7
無回答	3	0.4
合計	755	100



問4 問3で「小倉台小学校へ通学する（制度を活用する考えはない）」を選択した方に伺います。その理由をお聞かせください。（主なものを一つ選んでください。）

回答項目	回答数	回答率 (%)
近所の子どもたちと就学先が変わってしまうため	242	32.7
現在の指定校のため（特に理由はない）	66	8.9
既に友人・保護者・先生との人間関係を築いているため	280.5	38
船穂小学校への通学手段（スクールバス等）がないため	104	14.1
その他	44.5	6
無回答	2	0.3
合計	739	100

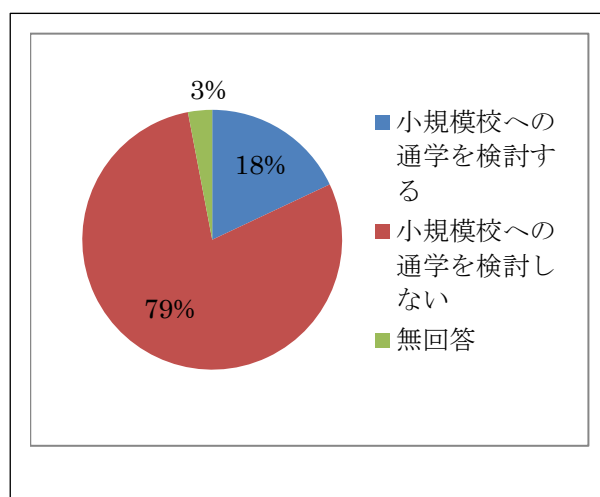


問5 問4で「その他」と回答された方は理由をお聞かせください。

- 自宅からの通学距離が近いため（回答数：36）
- 兄、姉が木刈中学校に通学しているため（回答数：4）
- 今さら変えるつもりはない。
- 小倉台小学校を希望しているので、今の学区内である家を購入している為
- 少人数で人間関係が固定化されることが心配。
- 体調不良などの早退時にお迎えが難しい。
- 子供が体調を崩した時、学校行事の時、タクシー等を使わなければ学校に行けない。子供が通える距離ではない。
- 公立の小学校であれば、どこでも大差はないと思う為
- 親友がいるので。
- 体操服など既に購入しているし、兄弟が5年なので、在校が長い下の子だけの移動は考えにくい。上の子は後1年弱なので、今さら移動も。
- もう5年生なので、今さら学校を変えたくない。もし変えたとしても家が遠いので放課後友達と遊ぶ約束をしても難しいので、子供がかわいそう。
- あと1年と少して卒業なので、引っ越し等やむを得ない理由がない限りは、今のまま小倉台に通学すると思います。
- 船穂小学校と小倉台小学校の環境が違いすぎて子供達はついていけないと思う。
- 通学手段もなく、スクールバスで小学校に通うのは震災などの際も不安
- 小倉台小学校へ通わせたいが、通学手段があれば船穂小学校でも通わせる。
- 親が役員をやったため、今後下の兄弟で役員、クラス委員等免除されるため、今後のことを考え、役員もつとめたため、できる限り学校は変えたくない。
- 子供の人数が少なすぎると親密になって良い反面、トラブルがあったら逃げ場がない。
- 「隣接する船穂小学校」と記されていますが、小倉台小エリアから船穂小がそもそも隣接していないため、なぜこのような制度が出てきたのか意味が分かりません。
- 中学校は木刈中へ進みたい為

問6 問3で「小倉台小学校へ通学する（制度を活用する考えはない）」を選択した方に伺います。小規模校（各学年1学級で少人数の小学校）に、他校にはない魅力（教育活動など）があれば、現在より通学距離が遠くても、制度の活用を検討したいと考えますか。

回答項目	回答数	回答率 (%)
小規模校への通学を検討する(制度の活用を検討する)	132.5	18
小規模校への通学を検討しない(制度の活用を検討しない)	585.5	79
無回答	21	3
合計	739	100



問7 問6で「小規模校への通学を検討する(制度の活用を検討する)」と回答された方に伺います。
他校にはない魅力(教育活動など)とはどのようなものをお考えですか。

- パソコンやタブレットを取り入れた授業や教育
- 課外活動で魅力のあるもの
- お勉強の強化や少人数ならではの活動
- 地域での課外活動の充実(福祉施設訪問)、スポーツ、マーチングバンド等
- 資金運用、より掘り下げたプログラミングなど、他国でも社会に出てから強みにつながる教育
- 学習や活動の1つ1つにおいて、他の生徒にうもれることなく、自分自身に向き合えること。
- PTAなど親の活動がない。
- スクールバスの運用があれば検討します。
- 親が観覧できる行事が多い。
- 子供の自立心を育むような教育活動
- 先生のより丁寧な指導(ひとりひとりをよくみて頂ける)
- 少人数なので、落ち着いた学校生活や学習環境があるのではないかと思います。
- 1人1人に目が行き届く教育
- IT教育の充実
- 課外授業やIT、英語の授業などを丁寧に行ってもらえるなら魅力的だと思います。
- 少人数のため、きめ細かい指導を受けられたり、子ども同士の関わりが深くなり、大人しい子にとっては自信をもって活躍できる場が増えると考えため。
- 個別の学習フォローアップ、地域の方々との関わり方など
- 例えば、英語教育に力を入れて、ある程度の会話が英語でできるようになるとかプログラミングを学んで色々なことができるようになるとか、かなり魅力がないとわざわざ通学しようとは思わないかもしれません。
- 自主的に動かなければならない行動力。大人数に流されない気持ち。
- 外国語学習の強化、課外学習を増やす。
- 10年前まで小倉台小でも行われていた全校遠足や通常の運動会など行事が充実していると思う。
- 高校の制度にあるスーパーサイエンスハイスクールのようなもの
- アクティブラーニング、IT導入に積極的、英語教育に力が入っている
- 他市や他県の小規模校との交流など
- 学习上、他校にはないカリキュラム(常にネイティブな先生がいるなど、私立の小学校並みの教育を受けられるとか)
- 少人数制のきめ細かいサポート、英語教育など
- IT関連、自然体験、少人数だからこそできる事
- 英語教育に力を入れてくれる
- 学校行事の充実。小倉台では大人数の為カットされている部分を充実されていること。
- 学年縦割りの班別行動などを通じて、個性や特性を生かせる教育環境
- 行事によって、家族が来校した場合の大混雑が無い部分
- 全学年との密な交流、行事の減少がない
- アットホーム感や行き届いた指導など
- 学童などで習い事ができる。
- 体育館や校庭をのびのび使ったスポーツ教育、一人一台のPC、多くのプレゼン授業(一人ひとりの発表の時間が多く取れること)、きめ細かい学習指導(高レベル)

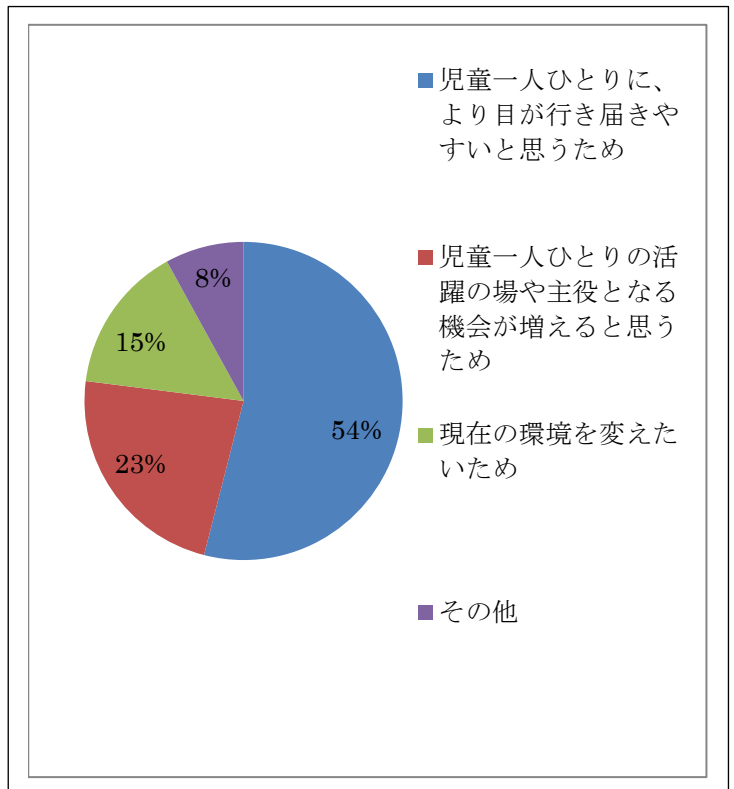
- スクールバス
- 進学する中学校の内容なども資料があれば。また、一番ネックな登下校方法も記載して欲しい。
- アクティブラーニング、英語、プログラミング、テーマ研究など、少人数ならではの柔軟な教育プログラムや到達度の高い取り組みと成果を期待します。
- 補習等学習支援が充実しているなら考えてもよい。
- 指導者の目が行き届くこと。通学バスがあれば登下校が安心。放課後、グラウンドで遊べると良い。
- 交換留学制度、学力向上
- 他の公立ではやっていない特徴のあることがあれば考える。例えば、英語で授業しているとか、最先端な技術に触れられるなど
- 進度（学力）別クラス編成。中学受験を意識した授業。
- 先生、子供同士のつきあい方が深まりそうな所
- 自宅までスクールバスが来てくれるなら考えたい。密にならない学びができるなら検討したい。
- 教育、課外の充実、子どもの特性を生かすフォロー
- 授業や学級活動の際、一人一人に目が行き届きやすいのではと思います。（友だち関係もうまくいきやすいと思います。）
- わからなかったポイントを何度も教えてくれる手厚い指導とスクールバス（送迎は夫婦共働きで難しい）、子供によってレベル分けした指導（できる子は進めて、できない子は徹底的に）
- インターナショナルスクールのような仕組み
- 本格的な英語教育、プログラミング教育
- 学力向上に豊富なプログラム、生徒により目の届きやすさ、交通手段の確保、進学先の魅力、人間力を鍛えられる課外活動
- 児童一人一人に目が行き届くため。少ない人数で助け合いながら、強いきずなができると思う。先生・友達との距離が近くなり、家庭的な雰囲気になると思うから。
- 一人ひとりへきめ細やかな指導。反対に人数が少ない分、学習面などで広がり欠ける可能性は気になります。
- 英語教育に力を入れる。（ホームステイの子供たちを受け入れる等）
- 個人指導に近い、1：1の教育を行ってくれる
- スクールバス、サッカーや野球、そろばん等
- 少人数指導による手厚い指導が期待できる。
- 勉強の進み具合等、一人一人に対応してくれる、目をかけてもらえる
- スクールバスがある。希望制ではなく学区を明確にする。（近所の友達と一緒に通学できる。）
- 国語、プログラミング、英語授業
- 個々の発達や個性に合わせた教育
- 中学受験に向けた質の高い教育や心のケア
- 少人数の子供の方が皆仲良くなり友達になれる為、楽しい学校生活ができると思いました。
- スクールバスの運行、小1からの英語やプログラミング教育、モンテッソーリやバカロレアなどの導入、小中一貫教育
- 体験学習が多い。通学方法が距離が遠い場合でも何らかの工夫で安全に通わすことができる。その他、学力向上に関しての独自の取り組みなど。
- より深い人間関係を築けること
- マンツーマンでの個別学習や豊富な課外授業など。
- 少人数だと担任の先生の目が届く。お友達関係が深くなる。
- 現在より近くなるのであれば検討したい。

- 学力、体力の向上性
- 小学校同士の交流を深める。
- 少人数授業
- 個人の能力、学力に寄り添った教育、より深い教師・生徒間の人間関係を築くことができる。
- 具体的には思いつかないが、他の公立校にはない教育内容や方法。
- 学力別クラス、私立のような特別カリキュラム、オールイングリッシュ、スクールバス、理科実験、アフタースクール、船橋市のような学校預かり
- 他学年との交流の回数が増やせる。校外活動を濃い内容で出来る。しっかり勉強・生活面を見てもらえる。
- 語学授業の充実、科学実験設備の充実
- 児童一人ひとりにより目が行き届きやすい。
- 児童一人ひとりにより目が行き届く環境
- 1人1人の学力が伸びるのではないかと思いました。
- インターナショナルスクールなどのオールイングリッシュの影響
- より深い親交関係
- 少人数での英会話など
- 個別指導、IT教育、理科実験の充実
- 少人数だから出来る事。縦割り教育時間があるとか、子供が先生になる時間があるとか。
- 英検、漢検等を学校で申込み、受験できるなど、教育面での他校との差別化。
- 学芸会や交換留学
- 例えば、私立で行っているような思考授業を取り入れたりすれば行かせたいと思う。(例：花まる学習会が田舎の公立学校の方で行っているような追加教材を利用して)
- 少人数の方が先生と子供の距離が近く、安心感がある。
- 個々にあった学習をしてくれる。
- 児童に目が届きやすい。他学年との交流が多い。子どもの行事に参加しやすい。
- 生徒一人一人へのきめ細かい指導。校庭でのびのびと遊べるなど。(小倉台小では子供たちが芋洗い状態です。)
- 体験学習に力を入れる内容や英語教育やプログラミング、アクティブラーニングを積極的に取り入れた内容。
- 英語に力を入れた教育。夏休み等で短期留学など。
- 児童がのびのびと活動でき、親にとって運動会でお弁当と一緒に食べられる。
- アットホームに学ぶ事ができる、先生の目が届きやすい。
- 学習障害に対する教育がより手厚ければ。
- 特別支援学級における手厚いフォロー
- 小倉台にはないアットホームなもの、なくなってしまった各種イベントなど。
- 小規模学校は魅力的だが、通学が遠くなる事は防犯面で不安。運動会で児童と一緒に弁当を食べたい。1人1人に目が届く所が良いと思う。
- 大規模校ではできない特別授業、私立中学進学を見据えた特待クラス制度等
- 生徒数が増加しすぎた小学校はメリットがない。運動会やプールの授業等。であれば、小規模校の方がまだ魅力を感じる。
- グローバル人材になるための英語教育に特化するなど
- PCやタブレットを活用した少人数授業。少人数での英語教育、オフィスでいうフリーアドレスに似た教室やクラスメイトを固定しない教育のスタイル。

- 1人1人に合った学習で、最終的には全員が学力向上に向かっている。(塾などの習い事が不要になる教育)
- 親が行事を見学するだけでなく、参加して一緒に作り上げられるような活動。
- 生徒ひとりひとりに合わせて勉強できる。

問8 問3で「船穂小学校への通学を希望する(制度を活用したい)」を選択した方に伺います。その理由をお聞かせください。(主なものを一つ選んでください。)

回答項目	回答数	回答率(%)
児童一人ひとりに、より目が行き届きやすいと思うため	7	54
児童一人ひとりの活躍の場や主役となる機会が増えると思うため	3	23
船穂小学校は豊かな自然に囲まれ、歴史や伝統があるため	0	0
現在の環境を変えたいため(少人数の小学校に通わせたい)	2	15
その他	1	8
合計	13	100



問9 問8で「その他」と回答された方は理由をお聞かせください。

- COVID-19感染拡大の中、小倉台小学校の環境は文科省からのガイドラインとはかけ離れている。(生徒数の多さ)

問10 【自由記述欄】ご意見などがあればお書きください。

- <問3で「船穂小学校への通学を希望する(制度を活用したい)」を選択>
- 不登校の子供や教室に入れない生徒には、現在通っている学校そのものに負の感情やトラウマがある為、別の環境で再スタートさせられるチャンスを学区外通学によって与えられると思います。いくつかの選択肢を与えて、大規模校が合わない子が救われる事を願っています。
 - 小倉台小は現在1mの距離は保たれていない為、いくら先生方が努力して感染予防をしても対応しきれない。小倉台小のような生徒数の多いマンモス校は、他校と同じ運営は無理。このような学校からオンライン授業の開始を早め、同時に在宅学習が不可能な児童への対応と在宅児の心のケアと運動不足対策を講じてほしいです。できれば学校を変わりたくないです。

- スクールバスや車通学が可能であれば、さらに前向きに考えられると思います。
- 残念ながら目が行き届いていないのは事実だと思います。把握もされていないようですし。
- 徒歩圏外の児童に対しては、スクールバスがあった方が良くと思う。(海外の例等)
- 小学校への通学手段(スクールバス)については、日々の事なので重要と考えます。スクールバス等の通学手段が確保されれば、この制度を利用して小規模校へ通学させたいと思いました。もし、住所が南側であれば、内野小学校へ通学させたかったのですが、住所柄そういう選択もできず、私学を考えたこともあります。(私学は電車通学に不安が出たため、断念しました。)
- 通学先の選択肢が多いことは、それぞれの児童(保護者)が自分に合った環境をより選びやすくなると思うので、選択制であれば良いと思う。(保護者の車送迎も可で)
- トイレ等、特に衛生面や特別支援学級児童の様々な困難さを考え、老朽化している設備は建て直してあると、より混乱がないと思う。
- 児童(教師)のストレスに即対応できるようスクールカウンセラーや支援級児童のリハビリ等を充実させてほしい。
- スクールバスでの通学になるのか、どこの中学校へ進学することになるのか知りたいです。
- 交通手段はどうなるのか知りたいです。歩くには距離があるので、スクールバスなどの対応はしてもらえるのでしょうか?

<問3で「小倉台小学校へ通学する(制度を活用する考えはない)」を選択>

- 共働きのため、通学に送迎できません。問6は非常に興味、魅力がありますが、現実的には難しいです。
- 木刈小ならまだ通学可能範囲だが、船穂は遠く、通学は難しい。
- 少人数だと、毎年役員や係になることが想定されるので、共働き家庭には厳しいです。
- 小倉台から船穂まで通学させるという非現実的なことをわざわざアンケートをとる必要があるのか。マンション等を乱立させておいて、こうなることは目に見えていた。
- 安全の面からスクールバスの導入は必須と考えます。
- 船穂小学校の少人数というところは良いと思いますが、通学は重いランドセルを背負う事、毎日の事を考えると近い方が良くと思っています。
- 放課後、子ども同士が遊ぶ約束をした場合に、小倉台学区の子どもと船穂学区の子どもだったら、子ども達だけで待ち合わせて遊ぶというのが難しくなるし、防犯対策も講じる必要があると思います。もしスクールバスを作ろうとしているなら、出発時間(回数)を少しだけ増やして、学校内や校庭で遊ばせる余裕もあることで、子ども同士のコミュニケーションが取れると思います。
- 船穂小学校の少人数でのびのびと自分自身に向き合うような学校生活に魅力を感じる一方で、現在小倉台小学校のすぐ近くに住んでいるメリットも感じています。学童保育も近いです。通学バスなどで送迎してもらったり、車で学校に送迎できれば、メリットを感じて転校する方がいるかもしれないので、小倉台小学校が各学年で5クラス程度になればいいのになと思います。
- スクールバスがあるならという前提、交通環境が良くないので徒歩はあり得ない。
- 色んな部活動があるなら考えるかもしれません。私自身、小学生の時は吹奏楽に打ち込み、とても良い経験になったので。
- 運動会や発表会など、他校と合同で行うことをしたり、学校に通級(支援クラス)があるように、1か月に数回、本来の学区の学校に通う事ができる様にしたりと、(希望があれば)少人数校だけではなく、外部との交流を持って欲しいと考えます。
- 登校拒否の子や何らかの事情がある子など、千葉ニュータウンは大人数の学校が多いため、少人数の学校からはじめられる訓練校としての利用も良いと考えます。

- 小倉台小は人数が多すぎてできなくなってしまった行事などがあるので、そこは残念ではある。しかし、これ以上遠い距離の学校に通わせるのは不安がある。スクールバスが出るとしても、その費用はどうなるのか疑問が残る。
- 子ども本人に聞いたところ、実際に様子を見てみたいと拒否的ではありませんでした。休日に子ども同士で遊ぶことを考えると安全面で心配です。船穂辺りは道端が狭く、自転車で行けるものかと。桜台中学校のように公立だけど画期的なと思えるくらいの何かがないと難しいです。
- 車ででの送迎が可能であれば、制度を活用することを検討したいです。
- スクールバスがあれば行きたいです。
- 中学校は木刈中になるのか、船穂中になるのか気になりました。毎日送迎するのは難しいので、スクールバスは必要だと思います。
- 少人数の指導については大変魅力を感じるが、船穂小についてはアクセスが悪く、また、小倉台小と比べて通学路に危険が多く、周辺を一人で歩かせられない。スクールバスがあれば、前向きに検討したい。
- 少人数教育に魅力を感じるが、遠いので通えない。小倉台は多いので、今までできていたことができなくなったり残念なこともある。環境が大事だと思うので、もう少し前に選択肢があれば良かったと思う。
- 親友や仲良しグループと離れたくないだけ。友達と一緒に通学バスなどあれば、本人は問題ないようだ。親としては魅力的な教育活動があれば検討したいと思う。
- 学区を考えて住宅を購入しています。宅地開発、マンション建設が始まった何年も前からこうなる事は分かっていたはずなのに、具体的な手を打たず、生徒数が1,000人を超えてから考え出すなんて遅すぎます。また、内野小へならまだしも、さらに遠い船穂小へ行くなんて、市は何を考えているんだと思ってしまいます。
- 小倉台小の生徒数の多さには、問題があると思います。選択できる（戸神台、武西など）は市がきちんと学区を定めないとイジメや先生不足などにもつながるのではないかと考えています。（イジメについては、先生が把握できなくなるという点）木刈中の人数増加により、高校進学へのフォローが手薄になる心配。
- いくら魅力があるからと言って、既に入学している学校からの転校は、よっぽどのことがない限りありえません。また、歩いて通えない学校は選びません。少人数には少人数の良い点もあるかとは思いますが、まず遠方すぎます。
- 子供の数が地域で多すぎたり、少なすぎたりする問題は確かに大きいと思います。今後は是正すべき課題だと思います。印西市の開発の仕方にも多少問題があるのではないのでしょうか。
- 小倉台小は大規模で学年当たりの学級数が多いため、クラス別の個性を出しにくいというか、平準化する傾向がどうしても出ている印象があります。また、IT教育など、施設や機器を必要とする場合も、全生徒が常にその環境で学べないデメリットも多いのではないのでしょうか。印西市内で、各校に強い特色を持たせて、選べるようになるのが理想です。船穂小の空き教室が、ICTラボ、英語ラボのように、常にその教室に行けば、すぐに誰でも学べるような環境とそれに強みを持つ先生がいれば転入したいです。
- 現在、在学中の子どもは、大規模校で適応できているので、制度を活用しようと考えません。しかし、小規模校の方が落ち着いて過ごせそうな未就学児がいます。ただ、船穂小に就学した場合、スクールバスがなければ通学手段がなく、近所のお友達との登下校や放課後の約束もできない、中学校までかなり遠くなり、通学手段もなくなる等となると、やはり地域の学校で学ぶのが一番ではと思ってしまいます。木刈小学校でしたら、中学も変わらないので、受け入れがあれば検討したいです。

- 時代の流れと共に統合や廃校、新設などは致し方ない事です。印西という街が今後も発展していくためには、早急な一時的な対応と計画的な対応が求められます。戸神、武西地区への新校建設や東京電機大跡地の有効利用、高花、西の原地区への新校建設による学区の変更等、皆様が考えている事が最善の形で実現される事を願っております。
- 移動先の検討校としては、小倉台と人数が両極端すぎて検討しづらく思います。中学校は船穂中へ進学なのかも記載して欲しい。その場合、スクールバスなのか、自転車なのか。中学校まで視野に入れて検討したい。
- 現在5年生の息子がいます。5年間通いなれて、友達もたくさんいる小学校を離れて、別の小学校へ行こうとは思いません。就学前に、小倉台小の人数の多さ、体育館がぎゅうぎゅうの今の環境を見せてもらっていたら、違う選択肢もあったかとは思いますが。運動会も授業参観も親が集まった時の混み具合も、前日から行くのが苦痛で仕方ありません。あと2年と卒業までカウントして、頑張っただけです。内野に変更しませんかと言いだしたあの時点で、船穂小が減少することも薄々わかってはいたはずですが。公立なんだから、公平に教育が受けられるよう先を見据えて判断してください。後手後手でうんざりします。木刈中にこの子達は行きますよ。大規模中学校に行く魅力を教えてください。
- 突然の選択肢に驚きました。通学はスクールバスなのでしょうか。簡単なかみ文と学校案内しかなく、判断材料に乏しいかなという印象です。少人数の学校は役員をやる機会も多く、親の負担が大きいイメージです。
- 学区中で、ある程度生徒の上限数を決めておくことも必要だが、急激に増えたマンションで後出しになってしまっていました。児童数の増加が原因で、なくなってしまった行事もいくつもあったので、子供の事を考えると、もっと早めに対策すべきでした。
- 現在通学している子が学区を変えるのは難しいと思うので、これから入学する子を最初から学区指定した方がいいのではないのでしょうか。
- 船穂小学校に近い地域で、又は近い地域も含めて見直すという策は練られたのでしょうか。
- 少人数で先生の目が行き届きやすいというのは保護者にとって魅力的ですが、もし、その理由で編入を考える家庭が想定を上回った場合、船穂小には教室があるのでしょうか。そもそも、船穂小の児童、保護者の方は、受け入れてくれるのでしょうか。児童が増えたことによって、先生の目が行き届きにくくなったと感じるかもしれません。大人数から少人数にとってはメリットがあると思いますが、もともと少人数で過ごしてきた児童は、ストレスを感じるかもしれません。いきなり編入とかではなく、おためしで学校を変えてみる。(少人数の学校は気になってはいたけれど、実際に行ってみたら合わなかったとかだと子供がかわいそうなので)
- 入学前であれば検討も考えますが、やっと慣れたばかりの頃なので、また環境が変わってしまうのは子どもにとって少なからず負担になる。近所の友人と別々になるのは嫌がる。
- 小規模校だとクラス替えがなく、「いじめ」で離れたい人とクラス替えで離れる機会がなくなり、子供がづらい思いをしそう。私自身、5～6クラスの小学校に通っていたので、小規模は考えられない。
- 小倉台小と木刈中の児童生徒数は多すぎです。何とかしてください。早急に。こうなることはわかっていたのに対応が遅いです。
- 明治から続いた歴史ある小学校が廃校の危機にあるのは悲しく思いますが、小さい子が毎日何年も通うことを考えると、スクールバスを使ってまで遠方の学校に通うことは難しいと考えます。
- 選べるなら小倉台小ですが、この地区は船穂小と決めてもらえれば従います。
- 学童、スクールバスが充実して、何より子供本人が転校したいと思う魅力があると、通う人が増えると思います。

- 小倉台小学校の児童数はとても多く、色々と大変な面もあるが、良い面もとても多いと感じています。既に通っている子供達については、現状のまま卒業まで通わせていただきたいと思います。住んでいる地区での一方的な学区変更だけはやめて下さい。よろしく願いいたします。
- 10年以上前、現在の自宅を購入した際には、近所に新しい小学校の建設予定があるということの魅力のひとつとして転居してきましたが、新校建設は知らぬうちに白紙、後になって学区外就学と言われても、何を今更という思いしかありません。
- 今楽しく小倉台小学校へ通学しております。そして、木刈中学生へあこがれがあり、中学生になることを楽しみにしています。マンモス校の中で大勢の友達と接することで、様々なことを学んでいるようです。一人ひとりまで目が行き届かないかもしれませんが、その分、規律の大切さや協調性の大切さを学んでいます。
- 町づくり自体に問題あり。20年前の原山、内野団地で失敗しているのに、なぜ同じ過ちをするのかわからない。市政を改めない限り、解決できないと思う。
- 現存施設を活用して、小倉台学区の過密に対応して頂くのは非常に喜ばしいのですが、木刈中への進学が約束されていること、選択制ではなく地区ごと全部（全員）が移動することが望ましいと思います。私自身も小林小から小林北小へ移りましたが、どちらも同じ通学時間ながら、地区で分けられ、近所の友人と一律で小学校が変わり、一緒に卒業し、分かれた友人達とは中学で再会し、幼稚園から中学まで皆と一緒に学校生活を過ごせて良かったと思っています。
- 療育に通っていた子供がいましたが（現在支援学校に行っている）、小規模校はマンモス校より安心して通えるメリットもあると思います。周りで進路で悩んでいる人達もいたので、今後、学区外就学も視野に入れられると幅が広がり良いと思います。
- バス等通学手段があれば希望者も増えるのではと思います。
- 船穂小は自宅と距離があるため、毎日の通学は難しい。
- 少人数の学校では、PTAや保護者の補助活動の負担がどうなるかも気になるところです。（毎年何かしらの役員？）
- 船穂小へのアクセスは歩道が狭かったり、小倉台小を通り越して内野も越して、わざわざすごく遠くまで行ったりという距離のデメリットを上回るメリットを作るには、相当のことがないとその気にならないと考えます。塾不要レベルの手厚い勉強サポートとか、課外授業（サッカー教室など）など画期的、斬新なアイデアを実現まで持っていくことができるのか？不可能な気がします。偏りすぎた児童数を何とかしてほしいのは山々で、小倉台小学校の大人数のデメリットにも辟易していることも事実。ニュータウンを作るなら、マンションを建てるなら、そういうことも考えないと。
- 南側の学区（小倉台小、内野小）がごちゃごちゃだと聞きました。そちら側を考えた方が良いと思います。小倉台区域（住居）が現在少人数で、南側の方が多数、小倉台区域が木刈に移れば良いなどと言われ、おかしい話。元々内野小の方が近い区域であれば、そこから考えてほしい。
- 他校ではやっていない特徴のあることがあれば、制度の活用は検討したいと思う。船穂小の伝統も守りつつ、最先端の技術や多くの色々な経験ができるといいなと思いました。
- あと二年なので、四年間過ごしてきた小学校で卒業させてあげたいと思います。
- もっと積極的に他校への誘導を促した方がいいと思います。小倉台小、木刈中の教室、スペース等が足りなくなるのは目に見えているので。
- 自宅からの距離を考えると、少し現実的ではないように思いました。スクールバスの運行や中学など短い年数なら、教育方針も含め検討して良いかなとも感じました。
- 小倉台小学校は通学範囲が広すぎるかもしれません。
- 学童や習い事との距離を考えると制度の活用は難しいと感じます。（学校⇔学童・習い事は本人が自力で移動している。）

- 少人数になった方が、個々の個性が伸びたり、嫌なことも好きなこともどちらにも関わる機会が増すので良いとは思いますが、色々な状況から今の時点では難しいかなと。一度に住宅を建てすぎてしまった事に問題があったと感じます。
- 船穂小の人数を見て驚いた。今まで知らなかった。偏りすぎ。設備やスクールバスなど通いやすい環境なら検討したいが、徒歩では通えない。設備も充実していて新しくなるなら魅力を感じる。今の小学校での友人関係があるので、そう簡単には転校は考えられない。だが、小倉台小学校までの距離もあるので、子供の負担を考えるとスクールバスが出るならと考える保護者もいるのでは。
- 少人数の教育には興味があります。徒歩通学できないので、スクールバスの運用、中学に入学した時、同じ学校から中学に行けず、友達がいない不安があるので、そういった事も考えて検討してもらいたいです。
- 印西市から、地区ごとに学区を区切って頂ければ、迷わず小規模学校へ移動します。(希望としては小規模が理想です。)自由になっていると、やはり近所の子達と別々になってしまい、子供達にも負担がかかってしまいます。理想は、地域、近所の子供達と全員で移動です。
- スクールバスの運用や良い先生が指導にあたっていただけ等は、船穂小への通学を検討する要因になり得ますが、現在の放課後の限られた時間の中で友人達と遊ぶ貴重な時間が無くなると思うと、転校は検討しないと思います。(今現在、近所の学校でさえ、友人と遊ぶ時間が少ないと子供たちが話しているため)
- 自宅からは遠くて通えないので、魅力があっても通学は現実的に考えて無理です。
- 仮にスクールバスを運行されても、現住所から船穂小学校までの通学距離、またそれに伴うリスク(交通事故など)やデメリット(余分時間など)を考えますと、検討するに値しません。小倉台小学校の生徒を内野小学校へ、あるいは原山小学校の生徒を船穂小学校へという考えの方が理にかなっているのではないかと思います。そうできない事情がお有りかとは思いますが。
- 結局のところ、学校までの距離が優先されるものかと思う。毎日長い道のりを行くほどのメリットを生み出すことが可能なのか。
- 集団の中で学べる事と少人数の中で学べる事、どちらにも利点があると思います。学校生活の中で、集団の中で、普通に楽しく生活ができるのであれば、学区内の小学校で学べるのが理想ですが、もし何らかの理由で不登校になってしまう、それが回避できるのであれば、小規模校への通学も選択肢の一つにあると心強いです。
- 現在小倉台小学校への通学時間も他の児童より時間がかかっているため、これ以上遠くなると習い事にも影響が出るので検討は難しいです。
- 武西学園台に住んでいますが、学校の通学路で通うと子供の足で30分以上かかります。就業時間も早い為、朝早く帰りも遅いです。子供にとって時間ももっとあれば色々できるのと思う事が多いです。できるだけ近くに通えるというのが大切だと思います。できれば、電機大学の辺りに小中学校を新設して欲しいです。今後進級した時に、中学校はさらにマンモスになり、そして遠くなります。本当に考えてほしいです。船穂小学校は明治からの歴史があるのかもしれませんが、小学校としての役目は終了してもよいのではないのでしょうか。廃校後に再利用されている学校も多数ありますし、無理に継続する必要はないと思いますが。廃校後の使い道を考えた方がよいと思います。
- 1学級少人数で先生が目が行き届くクラスは魅力的ですが、同じ市内にあって大人数という理由で何かと制約を受けている事に少々疑問を感じております。足並みを揃える事は難しいのかもしれませんが、市内で格差が起きにくくしていただきたいです。
- 一度入学し、途中から他校へ移るとするのはデメリットしかない。いくら少人数の学校で生徒一人一人に目が行き届くとはいえ、環境が変わり、子供の心身に影響が出そうに思う。

- 船穂小学校へ通学するには遠すぎる。
- 船穂小学校は通うのに遠すぎ、まったく魅力を感じません。こんな無駄なアンケートにお金を使うぐらいなら、新しい学校を作ることを真剣に検討して下さい。いつまでもその場しのぎの対応ばかりせず、市に意見するなど、前向きな対応を望みます。
- 小規模人数だけでは魅力的な要素にはなりません。通学時間や習い事、友達、環境まで変わるので、それに見合ったものがないと難しいのではと思います。
- 車の運転ができない為、急な早退等に対応できないので不便です。
- 親としては少人数の方が通学するのに良いと思っていますが、子供が小倉台小がいいと強く主張するのでやめました。
- 自宅から船穂小学校まで遠すぎます。スクールバス等の交通手段を取り入れてもらわないと通わせるのは難しいと思います。
- 第一子が入学してからでは学校を変えるという選択は、よほどの理由と勇気がない限りしないとします。しかし、第一子の入学前には、「あっちの学校は生徒数が少なくていいな」と考えていた時期があります。マンションに住んでいるので、マンションのお友だちとわざわざ別の学校を選ぶ事は結局しませんでした。希望者を受け入れてくれるという環境がある事はとても良いと考えています。
- こんなに少人数の学校が存在することに驚きました。近くの小学校と合併することで税金の無駄を省くべきだと思います。また、子供は少なすぎるコミュニティの中にいるより、ある程度の人の中においてあげるのも、育ちの上で大切なことだと思います。
- 通学手段があれば、検討される方もいるのではないかと思います。(我が家はそれでも活用はしません。)
- 船穂小学校までの通学が遠くて、スクールバス(無料)などがあれば通えるかもしれませんが、天候に大きく左右されますし、バスに乗れなかった場合は、送り届けるのは困難です。
- 児童一人ひとりの活躍の場が増えること、先生方の目が行き届きやすいと思うことから、小規模校へとても魅力を感じています。しかし、子どもは既に小倉台小に愛着を持っており、友達とも別れたくないと言っています。入学の段階でこの制度があれば、活用したかったなと残念に思います。
- マンションや戸建て等住居ばかり増やしてその先を見据えていない感じがします。保育園、幼稚園、小学校、中学校の事も考えてから住居を増やすべきではないかと思います。住みよさNo.1とは思えない。電車賃も高いし。
- 駅から近い学校に通えるということで、現在の住まいに転居してきたため、制度を活用する考えはない。
- 小倉台小学校は大人数の上に通学が遠いので、あまり良いとは思えないが、今回のこれとは違う調整を希望します。(例えば、464号線の北側、南側で分けるとか)
- 家から歩いて少し遠くても通えるのであれば、現状のまま(友人達と別れたくない、学校の管理、指導、父母の活動が活発等の理由で)小倉台小学校に通い続けたいと望みます。明らかに抜本的な政策で船穂小学校が変わり(校舎・活動)、スクールバスが登下校時に回ってくれるのであれば、考えるようになると思います。
- 現在より通学距離が長くなるため、毎日通えないと思います。これ以上遠くなると心配です。
- 新しくできたマンション(センティスの道路向かい)の子供達が登校経路が小倉台小と同じ道で逆方向に歩いていくことになっていて、少々危ないと感じた。
- 小倉台と船穂は距離があるため、相当素晴らしいプログラムがなければ、通学する人は少ないと思う。
- 学校が遠いと通学が大変で検討できません。スクールバスや近所にまとまっていける友達がいたら、他校へ通うことも考えられます。(安心して登下校できれば)

- 開発段階で学校予定地だった場所を住宅へ変更、一時的に人数が増加しても同時に減少していく部分があることは予測できることだったはず。学校の教職員、保護者に負担をかけるのではなく、市・教育委員会できちんとした対策（統廃合を含む）をしていただきたいと思います。
- 小倉台小でさえ、自宅からの距離があつてかわいそうな思いをさせているのに、それ以上に遠い船穂小は全く考えられない。船穂小周辺は道路も狭く、人通りもあまりないので、子供には歩かせたくない。
- 今通っている学校が合わない時に検討する。
- 人数が多すぎて行事が簡素化されすぎている気がします。多いとそうになってしまうなら、人数を減らして欲しい。
- 小倉台学区から船穂小は遠く、道も狭いため、通学区として現実的でない気がします。一方、小倉台小も人数過多で今後どうなっていくのかという不安もあります。電機大学跡はどのように活用されていくのでしょうか。もったいないという声が多いですし、学童たちに活用してもらえたら嬉しいです。
- 引っ越してきた家庭などは、昔から住んでいる地域の方々から木刈中学校の学力レベルが高いという話をよく聞きます。その為、小倉台小と内野小と選択できる場合、小倉台小を選ぶ家庭が多いと思います。その為、小規模校の学力レベルが上がるような取り組みがあれば、とても魅力的だと思います。
- 船穂小学校を考えた時に、通学・近所のお友達と離れてしまうという事が気になる。しかし、小規模校は大規模校にない魅力がかなりあります。直面したらかなり悩みます。
- 駅北側から毎日通学するには遠すぎて、今のところは船穂小までの通学は考えられません。
- コロナ対策等でも少人数の方が距離が取れそうだし、感染のリスクも少なくなるので、コロナが落ち着くまでは少人数の学校に通わせたいです。
- 今現在、船穂小学校への学区外からの通学手段は何か考えていますか？（スクールバス？コミュニティバス？）
- ようやく学校生活がスタートし、新しい人間関係を作り始めたばかりなので、また新しい学校に行くという考えは今のところ考えられない。でも、多人数の学校なので不安もある。この先、いじめ等があった時に制度が利用できるのであれば、ぜひ検討したい。
- 自宅から船穂小まで徒歩で 45 分です。少人数で目が届きやすく、その点すごく魅力的ですが、もう少し行きやすかったらいいのにと思いました。
- 子供が安全に楽しく通えることが第一だと考えます。学区を明確にしてしまえば皆従うしかないのでは。
- あまりにも多すぎても少なすぎても良くないと思います。どちらにもメリット、デメリットがあるので、後から選択するのは難しいです。もう少し計画的に検討してほしいです。（過去に戸神台地区に小学校の建設予定がなくなっています。）木刈中への進学についてもある程度検討されているのでしょうか。増築するだけで良いのでしょうか。ある程度学年で一斉に変更していく方が移動しやすいですし、どうしても理由がある時だけ、予定通りの学校への通学を許可するのも一案かと思えます。
- 少人数のクラスで一人一人に細やかな指導をしてもらえるのなら、それも良いなと思いますが、1 学年 1 学級でそのクラスの子と上手くいかなかった時は逃げ場も無く大変そうだなと思います。我が子に関しては、健康上、すぐに迎えに行かなくてはいけないとなった時に離れた場所は心配という事があり、検討しないにマークをしました。
- 船穂小へ通学した場合、中学校は指定されるのか、もしくは木刈中学校を選ぶことができるのか、進学先に関心があります。

- 小学生で自転車通学は無理です。通学バスの整備がなされないと難しいと思います。また、学校へ用事がある親の為の駐車場も必要になると思います。
- 問3で活用しないと答えましたが、家の近くに学校があれば希望するかもしれません。通学を考えると迷う。できれば自分の足で登校させるのが理想。学校が近くにできないでしょうか。下にまだ子供がいますので。
- スクールバスや交通手段が整っていたら制度を活用しても良いと思いますが、交通の便が難しいとやはり困難だと思えます。
- 小倉台小学校区から船穂小学校へ通学させるのは、距離がありすぎます。
- 小倉台小以外は検討しておりません。小倉台小が大変気に入っております。よろしくお願いいたします。
- 少人数になって欲しいと思っていたが、既に自分で友達を作って楽しめるようになったので、このまま頑張りたい。もし入学時であれば考えたと思う。(子供の性格が少人数に合ってそうだったから)
- 子供の意見が既に転校は嫌と言っているので、考えられませんでした。
- 敷地に対しての人数の多さ、通学路の交通量の多さや距離など不安はあります。電機大など10年単位でレンタルし、小倉台小の分校や第2施設等として使用したり、大塚前公園を数年間だけ体育の授業等で使用できる時間帯を設けるなど、子供がのびのび小学校生活を過ごせるよう検討して頂けると有難いです。
- 船穂小学校は遠い。
- 駅北側地区(小倉台)は学校が今より遠くなってしまうため、あまり現実的ではないと感じました。
- 小倉台小を拡大、充実化して欲しい。
- 今でも学校までが遠すぎて、天気の良い日や真夏など子供が大泣きするくらい行きたがらない。夏は背中から腰まで、あせもでびっしりになる。今以上に遠い学校へ行くななんて手段がない限りあり得ない。
- 2、3年前、武西地区に新しい学校ができると耳にしましたが、計画は中止されたのでしょうか。
- 一時的な児童数の偏りかと思いますが、スクールバスの利用などを進めていただき、小倉台、内野、船穂、原山、高花辺りがある程度自由に選べ、うまく分散できるようになると良いのですが。
- 小倉台小の大規模化は、他の学校でできていることが人数が多いという理由でできないこともあるので、どうかしてほしいですが、船穂小は遠すぎです。
- 1週間程度の体験入学的なものがあり、子供達自身で考える時間などがあれば希望する子も出てくるのかな。スクールバスは必須だと思います。
- 長男には小規模校の方が性格に合っているのではないかと思うが、通学手段、通学路の安全性を考えると悩ましいところです。また、中学校は木刈中へ進学するののかも気になるところです。
- スクールバス等の安全な交通手段があれば、ぜひ制度の活用を検討したいと思います。また、学童の設置があれば、制度を利用したい人は増えると思います。
- 小規模校の魅力がもっと広く知られていくと良いなと思います。印西市は学校の規模にバラつきがあるので、分散させてうまく活用していけたらと考えます。
- また駅前(北口)にマンションが建つようです。これ以上、過度な転入は止めて下さい。小学校10年目ですが、色々な不都合を感じています。また、密を避けるべきです。
- 大規模でも小規模であっても、できる限り少人数で一人ひとりに目が行き届く指導をして頂きたいと願っています。格差が出てしまうのは…と思います。(難しいことも承知しておりますが)
- 毎日通学するための道の安全確保への不安があります。人通りが少なすぎる。通う人数が少ないので、低学年では、より不安です。天候不順が多い中、これ以上遠くに通わせたいと思わない。

- 大人数にはない良さが少人数にはあると思います。特にこのコロナが流行してしまった今では、小倉台小では、やはり不安な面があります。しかし、もし、船穂小への転校可能となっても、わざわざ転校してまで環境を変えようとは思いません。入学前に選択肢があるならば、考えたかもしれません。
- 家からの距離が遠すぎると、船穂小に行きたくても、行けない人が多いと思います。(車の運転ができない、車がない等(参観などでも))登下校も心配が増えるので、スクールバス等の運用が必要だと思います。
- 小倉台から船穂小学校へは通学手段がない為、通うことは難しい。
- 通学経路が遠い為、スクールバス等があれば、希望する方も多いと思います。(南側地区は、低学年で歩いて20分以上かかる為)
- スクールバスがあったとしても、保護者会活動など車が使えないととても不便なので、よっぽど魅力的な学校でなければ、検討しづらいです。
- 印西市の人口分布が二極化し、一方で大人数により手厚い教育が行われていない学校がある事を考えると、生徒減少で安易に閉校するのではなく、各校に多様性を持たせ、各々の魅力ある活動で制度の活性化を狙うべきだと思う。もちろん、それに加えてスクールバスが大前提。そのセットで市全体が取り組んでみると新しい印西の教育が生まれるのでは。
- もし通学区域制度が運用されるにしても、船穂小は現在の住まいから遠く、不便な点が多い。(日々の通学、急病による早退、参観や面談、運動会等の学校行事への参加等)小規模校には、大規模校にないメリットもあると思うが、それなら新たな小学校が近隣に出来る方が望ましい。
- とても興味がある内容でした。これが入学前だったら検討していたと思います。まだ入学したばかりで、大規模のデメリットがまだわからないので、もし子供に大規模が合わなければ、検討してみたくなるかもしれません。
- 今後財政状況がますます厳しくなることが想定される中、児童数の動向に合わせて学校施設を適切に配置していくべきだと思います。小規模校を無理に活用しようとするコストがかかりすぎるため、統廃合を進めるべきです。交付税の不交付団体であることに慢心しているのは危険です。
- 近所の子と就学先が変わると、どんなに魅力的な学校でも、途中で変更する気が子どもには無いと思う。
- 小倉台小学校の人数増加対策は、後手、後手になっていると思います。464号線を渡っていく子供達を初めから学区制などで区切ることはなぜ出来ないのか。ある程度の強制も行政側が示さなければならぬ時もあると感じます。木刈小と一緒に木刈中については、一層不安です。
- 少し前に転校してきたばかりです。タイミングが合えば検討したかもしれませんが、市に問い合わせたときはこのような話はなかったですね。
- 通学時間が長くなることにより、事故、事件のリスクが懸念される。特に船穂周辺は、照明が暗い為、冬場の下校が心配。
- 小学校入学前にこのような選択があり、スクールバス等の通学手段も用意されているのであれば小規模に行かせたかった。そもそも印西市に家を買う時には、武西学園台3丁目に新しく小学校が建つという話だった。ニュータウン地域の土地開発は、行き当たりばったりで、どんどん住みづらくなっている。週末の渋滞もひどい。もっと長期的な教育計画と都市開発はできないものか。
- 片道4.1kmは小学生には遠すぎると思います。第一、千葉ニュータウン大橋を渡るのは、風が強い日は大人でも危険です。残念ですが、船穂小の生徒が他校に移るのが一番良いと思います。
- 船穂小学校そのものには魅力は感じます。ですが、どうしても通学手段がネックとなります。夫婦共働きが多い現在の社会において、送迎が付きものとなると厳しいのが現状だと思われます。スクールバスの運行等があって、初めて検討のテーブルに乗ると考えます。

- 不登校やいじめなど心に傷がある子達も、また楽しく通えるよう通学区域を変更して、やり直しが可能になるといいと思います。
- 子供がADHDと診断されています。大人数の学校より少人数の学校の方が子供にとって良いなら、考えも変わってくるかと思います。
- 大人数で得意、不得意関係なくやる長縄やマラソン大会ではなく、それぞれの個々の力に合った行事を行ってくれるなどあればいいと思います。
- 小規模校はとても魅力ではあるが、登下校の足がないため、共働きの家庭では現実的な話ではないと思う。
- 船穂小の児童数が思っていた以上に少なくて驚きました。ここまで少ないと、他者とのコミュニケーション能力の育成や体験が少なくなりそうで、心配です。
- 小倉台が学区だから通わせているが、イベントもなくなるし、運動会も流れ作業。一緒に食事もできない。陸上部も6年は参加できなくなったりとヒドイと思う。市は何を考えてマンション等を増やしているのか。子供の事を考えてほしい。
- 小倉台小の生徒数増加により、教室が足りないなど、増設していることを考えると、船穂小の校舎活用をした方が良いのではと思います。船穂小としてではなく、小倉台小の分校として考える方が、保護者の理解も得られやすいのではないかと思います。
- 千葉ニュータウンに転居してきた当時は現在宅地化が進む武西学園台に新しい小学校ができる計画がありました。しかし、新しい学校を建設する必要はないとの見解で白紙に。その時点でこうなる事は予想がつかしました。都市計画が行政の力の及ばないところで進んでしまうことは致し方ないのかもしれない。しかし、上の子が通った小学校に下の子が通いたいのは当然です。とはいえ、現在の小倉台小学校の状況には、かつての魅力は感じておりません。むしろ小規模校の方が魅力的なのかもしれません。でも兄弟が違う学校に通っていますという未来はあり得ません。かといって上の子を船穂小に行かせることもないと思います。またここできちんとした説明書きがなされていませんが、船穂小に行けば船穂中に進学することになりますよね？まず最初にアンケートをとるのは良いことかもしれませんが、きちんとした道筋を明らかにすることも必要ではないでしょうか。イオン横に更に新しいマンションが建設されるようですが、どう対応されるのでしょうか？困惑しています。子どもが児童数生徒数増加に伴う工事の影響を受けて可哀そうです。※1つ良い事を書くとすれば、子どもたちはそれぞれ良い友達に恵まれているということです。
- 小倉台地区在住なので、船穂小へ通うメリットは全くないと感じる。(全然近くもない)小倉台小以外の選択肢があるとしたら木刈小くらいではないか。
- 小倉台小学校の児童数が多すぎる為、児童1人1人の指導が行き届いていないのではとも思いますが、船穂小学校までの道のりは遠く、道路も歩道が無い様な道ばかり。街灯も少なく、小学生が通うには不安が沢山あります。まずは道路の整備や安全な通学手段を整えるべきかと思います。
- 児童数がこんなに少ないと知らず、驚きました。
- 学習面やスポーツ面、通学時の安全対策で、現在の状況とどのように異なり、それぞれの利点が比較できれば、検討しようと思う。
- 小倉台小は児童数が増加しすぎている。運動会等についても増加が原因の弊害しか感じられない。早急な対応を望む。
- 小倉台小の児童数が年々増えていくことに関しては、何年も前からあった話で、マンションが増えても戸建が増えても何も対策せず受け入れして、通いだしてから他学校検討など言われても今さら変えられるわけがない。さらに、隣の内野でもなく、今よりも遠くなる船穂では子供の負担が増えるだけ。
- 女子のため、あまりに少人数の学級編成だと、何かあった時に逃げ場がない。

- 選択制にしても変える人は少ないと思います。木刈中に進学したいので、小倉台小にいたいです。小学校を選べるなら、中学も自由に選べるといったメリットがないと難しいと思います。
- 船穂小学校に関しては、近隣小学校（高花、内野、原山等）への統合が望ましいと考えます。小倉台小の児童数増加は昨年頃より卒業生と入学生の数が増え、横ばいになってきたため、現状より大幅に児童数が増加するとは考えにくく、むしろ戸建て世帯の児童数が増えてきていることにより、今後減少していくことが予測されると考えます。
- こんなに遠い学校へどのように通学させるつもりなのか先に記入しておいてほしい。バスなどがない限り、通学しようと思う人は少ないのでは。今の船穂小の人数を見ると、内野小や高花小と統合してバス通学させた方が早いと思う。武西学園台から小倉台や内野小は子どもの足で30分はかかる。隣接している東京電機大学の跡地を小中学校としてリノベーションなどはできないのかと住民は話しています。
- 途中から小学校を変更するのは、子供にも負担になるので考えはないのですが、すでに通っている兄弟等がおらず、新1年生になる時点で選択できるのであれば検討すると思います。
- 小倉台小が人数が多すぎている事は色々と不安に思う事があります。できれば人数の少ない学校に進学したいと思っていましたが、まわりのお友達がみんな小倉台のため、小倉台に進みました。人数が多い事は数年前から予想できていたはずなので、もっと早めに促してほしかったです。今までは内野小しか案内がなかったのです。
- 短期間に人口を増やしすぎと思う。詳しいことは分からないが、戸建てでもマンションも急激に一定地域に増え、子供が増えて当たり前。市としてコントロールできないんでしょうか。人口が増えすぎて、住みやすさがなくなってきている。
- 現在小倉台小学校に通っている子供を持つ立場としては、これ以上生徒数を増やすのは絶対反対です。今でさえ目が行き届いていないと思うことが多々あるのにこれ以上は無理でしょう。今年度、運動会での保護者観覧がなくなったのも小倉台小だけと聞きます。これ以上、小倉台小の教育の質を落とさないためにも、生徒数を減らす方向で検討して下さい。
- 船穂小学校は遠いため、現実的に通学させたいと思えません。（スクールバスなどもない、現在の学校での友達などとも離れてしまうなど）なので、船穂小学校と合併し、船穂小学校を小倉台の分校として、1、2、3年生は船穂小、4、5、6年生は小倉台などで、船穂小の場所を活用することには賛成できる方も多いのではないのでしょうか。
- 登下校の安全に疑問あり。（遠すぎる）少人数の環境で学び活動できるのは大変良いと思います。

■船穂小学校の今後の対応等について■

船穂小学校の今後の対応等について、現時点における考え方は以下のとおりです。

- 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、関係する保護者等との意見交換ができず、現時点で統合について皆様の賛同を得られていない中で、統合を進めることはいたしません。
- 今後、状況の変化により意見交換会が再開され、皆様と意見交換を進める中である程度の賛同をいただけた場合につきましては、早くても令和4年4月以降の統合になるものと考えております。
- 子どもたちのより良い教育環境の整備を図るため、今後も、課題を共有し、意見交換会が再開できた際に有意義なものとするため、必要な情報を提供させていただきたいと考えております。
- ご意見等がございましたら、下記の問い合わせ先へお願いいたします。

【問い合わせ先】

印西市教育委員会 教育部学務課

学校適正配置推進係 電話：0476-33-4704（学務課直通）

